

平成30年7月18日

魚の棲みやすい川づくりを一緒に考えませんか？

～後志利別川に棲む魚類の生活史を学ぶ講演会～

函館開発建設部では、後志利別川での豊かな魚類の生息環境の創出、また、このような河川空間を地域振興につなげていく試みとして、「後志利別川「エコ・UPプロジェクト」」の取組を行っています。2回目となる今回は、後志利別川に棲む魚類の生活史を学び、生息環境づくりに活かしていくため、専門家による講演会を開催します。

「後志利別川「エコ・UPプロジェクト」」とは、今金川の会やボランティアの方々、函館開発建設部今金河川事務所、函館農業事務所が主催となり、サクラマス・サケ・アユ等が生息している後志利別川にさらなる魚類の良好な環境をつくり、人々が豊かな時間を過ごせる河川空間を地域振興につなげていこうとする取組です。

記

第2回 後志利別川「エコ・UPプロジェクト」 【別紙参照】

講演会「人をつなぐ川の生きものたち—後志利別川—」

日時：平成30年7月23日（月）15：30～17：00

場所：東部ふれあいホール（今金町今金445-8）

講師：一般社団法人 流域生態研究所 所長 妹尾 優二氏

※講演会は申込み不要です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

今金河川事務所長

あきやま 秋山 泰祐（電話番号 0137-82-0041）

工務課 流域計画官

みきかわ 三佐川 剛昌（電話番号 0138-42-7604）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



魚の住みやすい川を

みなさんで一緒に考えませんか？



～講演会のおしらせ～



★後志利別川「エコ・UPプロジェクト」ってなあに？

後志利別川では、サクラマス・アユ・ヤツメウナギ等の魚類がたくさん確認されています。後志利別川の流域全体で魚道の改善や新設を行い、更なる良好な魚類の生息環境を作ります。そして、内水面遊漁券を購入する釣り人や観光客等の人たちが「豊かな時間」を過ごし、地域振興にもつなげる試みです。

第2回 後志利別川「エコ・UPプロジェクト」

講演会

人をつなぐ川の生きものたち

—後志利別川—

私たちのふるさとの川、後志利別川は四季を通し、さまざまな生きものたちが生息しています。中でも私たちはヤツメウナギ、アユ、サケなどに古くからかわりあいながら暮らしてきました。今回は、これら魚たちの生活史を改めて知り、清流の保全と共に「生きてる後志利別川」へ思いを深めたいと思います。

【開催日・時間】平成30年7月23日（月）15:30～17:00

【場所】東部ふれあいホール（今金町今金445-8）

【講演者】妹尾優二氏

（一般社団法人 流域生態研究所 所長）

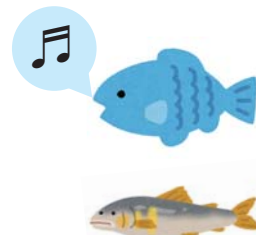


1951年 赤井川村生まれ 1970年 現(株)ドーコン入社
1991年(株)エコテックを設立 1993年 流域生態研究所を設立
現在：NPO 法人全国水環境交流会理事、NPO 法人田園生態系保全機構理事
石狩川やつめ文化研究会会長、夕張川自然再生協議会アドバイザー

■主な著書：『多自然型川づくりを越えて』（学芸出版社）、『北海道に棲む魚たちの話』（(株)エコテック）、『川を覗く』（流域生態研究所）等多数

■主な研究：河川自然学論、カワヤツメの河川内における生態行動、イトウ・シヤマモにおける生態行動および河川生物全般と河川環境の研究

■知床世界自然遺産河川ワーキング特別委員（環境省）、希少野生生物指定候補種検討委員会委員（北海道）、天塩川魚類生息専門家会議委員（開発局）、環境に係わる情報協議会検討委員（開発局）、など河川に係わる検討委員多数



【主催】

今金川の会+ボランティアの仲間たち

函館開発建設部 今金河川事務所・函館農業事務所 今金分庁舎

【協賛】今金町・せたな町



【お問い合わせ】

函館開発建設部 今金河川事務所

〒049-4308 瀬棚郡今金町字今金 414-7

TEL：0137-82-0041

FAX：0137-82-2164